

防災訓練の実施



【桃山学区】

■世帯数：3,724 世帯

■人 □：9,719 人

■面 積：0.919k㎡

平成 24 年 4 月 1 日現在

1 活動・取り組みの内容

- ・桃山小学校において、防災訓練を実施、参加者は約 340 人。東日本大震災の被災状況を目の当たりにして、これまでの訓練内容を改め、より実務的に行動ができるように取り組んでいる。
- ・町内会ごとの防災会を単位として参加し、当日は、訓練内容ごとに、炊き出しなど5グループに分けて実施している。

【住民へのPR方法】

チラシの回覧

2 きっかけ、背景

東日本大震災の被災地の状況を見て、自分たちの地域が被災した場合の恐怖を実感し、従来からの防災訓練とは内容を新たにし、地域の実状に即した実践的な防災訓練に取り組んだ。



3 実施の体制

(1) 運営メンバー

区政協力委員、民生委員児童委員、消防団員、保健委員 計約 10 人

(2) 運営協力

町内会の防災会を編成し、防災会単位で参加

4 実施のスケジュール

H24 年 3 月初旬 区役所総務課と防災訓練の日時を打ち合わせ



3 月中旬 学区連絡協議会の今年度の取り組み方を役員で打ち合わせ



4 月末 スケジュール、役割分担について学区連絡協議会役員と消防団で打ち合せ



5 月初旬 防災訓練実施計画（案）を学区連絡協議会役員と消防団で打ち合せ



5 月下旬 防災訓練の実施内容、備品の確認を学区連絡協議会役員で実施



6 月 4 日 防災訓練当日、炊き出しなどを 5 班の訓練グループに分かれて実施

5 成果と課題

(1) 成果・効果

- ・家庭でできる防災対策の習得や、非常用に持ち出す備品の確保について周知ができ、防災に対する住民の意識が高まった。

(2) 苦労した点

- ・災害に関する広報を各町内会（防災会）に回覧し、住民の理解を得ることに努めている。

(3) 今後の課題・展望

- ・防災会を通じて訓練の積み重ねを行うことが重要。
- ・災害時の非常持ち出し用、また避難所設置に必要な備品調達資金の確保が必要。